

# 第六次緊急雇用・経済対策 (平成21年度12月補正予算) 予算総額 368,430千円

年末・年始に向け、雇用・経済情勢の深刻化が懸念されるため、年末・年始における緊急雇用の創出と小規模事業者への支援を行うとともに、年度末、来年度はじめに向けた、効果的な対策の実施につなげる。

## 県内の情勢

年末にかけ雇用保険の受給が終了する人 8,000人 (推計)

越年雇用対策と継続的雇用の創出

新規高卒者の内定率 57.7%  
平成21年9月末 71.8% (昨年9月末)

有効求人倍率 0.42 (平成21年9月)  
1.06 (昨年9月)

小規模事業者の 27.9%が 年末の資金繰りを懸念

小規模事業者への資金調達円滑化

県内企業の景況感DI ▲45.9%(7-9月期)  
10四半期連続マイナス  
\*好転から悪化を引いた値

## 1. 雇用対策 予算額 365,037千円

### 雇用機会の創出

#### ○緊急雇用創出事業

- ・年末、年始の短期の雇用・就業機会を提供する。  
53事業 新規雇用332人 予算額 362,750千円
- ・介護等雇用創出  
介護福祉サービスに従事しつつ、資格取得につなげる 80人(再掲)

10月末までの雇用の実績 2,101人  
12月末までの雇用創出 3,616人

六次対策含め、1,515人の雇用創出

### 職業訓練・就業支援

#### ○ワンストップサービスデイ対応(求職者総合支援センター事業)

予算額 2,287千円

四日市、鈴鹿で、就業、生活、法律相談等を実施する。

#### ○新規高卒未就職者への支援

債務負担行為の設定

平成22年度4月以降の職業訓練等の準備を行う。

年度末、次年度にわたり継続して実施

## 2. 経済対策 予算額3,393千円

### 中小企業等経営安定化

予算額 3,393千円

#### ●中小企業等金融対策

金融機関の協力を得て、政策目的資金の金利を一律0.25%引き下げる。  
小規模事業者等に向けた資金の強化などを行い、経営の安定化を図る。

- ・小規模経営サポート資金 融資枠 40億円 利子補給補助0.5% ⇒0.6% 債務負担行為の設定
- ・小規模事業者経営改善資金 融資枠 60億円 利子補給2年間0.5%
- ・セーフティネット資金 融資枠3200億円(国の対策と連携した利用促進)
- ・農業経営近代化資金、漁業近代化資金融通  
台風18号被害による災害復旧にかかる融資への利子補給の実施 債務負担行為の設定

#### ●がんばる商店街応援隊派遣(緊急雇用創出事業)

<26,510千円 再掲>

社会貢献、イベント等の活性化に取り組む商店街を支援する。

長引く厳しい雇用経済情勢を踏まえ、平成22年度対策を構築